

# GM0 クラウド Private サービス 仮想マシンインポート手順書

■更新履歴

バージョン	日付	内容
1.0	2015/04/02	初版作成
2.0	2024/08/27	VMware Cloud Director 10.5.1 に最適化及び各種文言の修正

## 目次

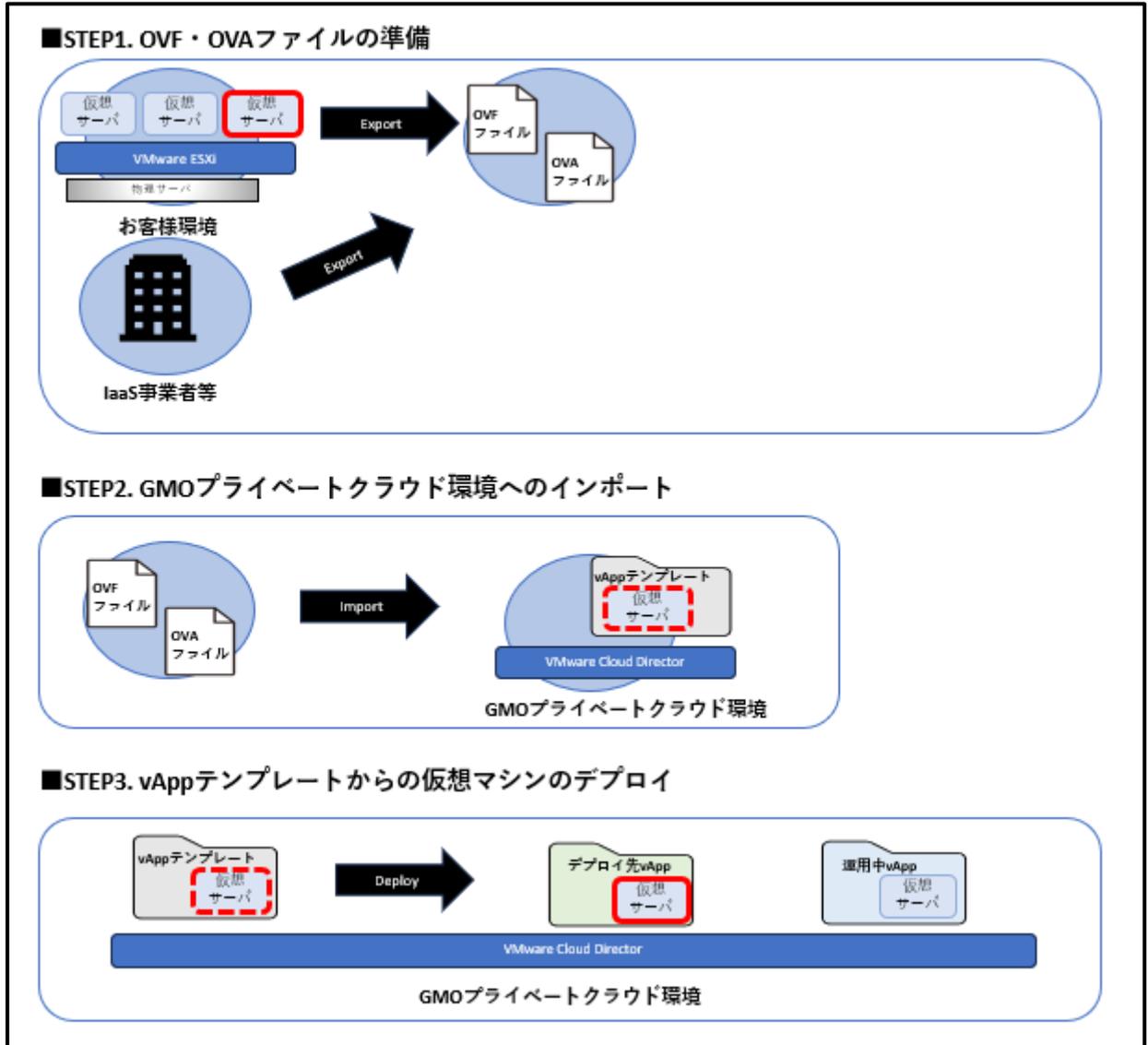
---

1. インポートに際しての確認事項 .....	5
2. カタログ領域への OVF/OVA ファイルのインポート .....	6
2.1 クラウド環境へのログイン .....	6
2.2 新規カタログの作成 .....	6
2.3 カタログへの OVF/OVA ファイルアップロード .....	8
3. OVF/OVA ファイルから VAPP へのインポート手順 .....	13
3.1 クラウド環境へのログイン .....	13
3.2 OVF/OVA からの新規 vApp 作成（仮想マシンのインポート） .....	13

## はじめに

本書は、GMO クラウド Private サービスで提供しているクラウド環境の基盤ソフトウェアとなる VMware Cloud Directore にて仮想マシンのインポートを行うための手順書となります。

インポートの手順としては下図のように3つのSTEPで実施いたします。



本書では上記3つのSTEPのうち、下記オペレーションについての手順を記載いたします。

- －STEP2. OVF/OVA ファイルの GMO クラウド環境へのインポート方法  
※出力フォーマットにより OVF/OVA ファイルに変換する必要があります。

下記、手順につきましては「仮想マシン作成ガイド」-「2. 仮想マシンの作成」-「2.2 vApp テンプレートを利用した仮想マシンの作成」(16 ページ以降)をご参考ください。

- －STEP3. vApp テンプレートからの仮想マシンのデプロイ方法

本書は、当社の許諾なく複製 または 第三者への使用を禁止いたします。

# 1. インポートに際しての確認事項

クラウド環境への仮想マシンのインポートを行う為に、下記に記載した要件をご確認下さい。

① インポート対象となる仮想マシン及びそのインポートファイルが満たすべき要件

- ・ Open Virtualization Format (OVF フォーマット) もしくは Open Virtualization Format Archive (OVA フォーマット) であること。
- ・ vmware-tools がインストールされている状態でエクスポートされていること。
- ・ ESXi 7.0.3 あるいはそれ以前のバージョンの ESXi からエクスポートされていること。
- ・ VMware Cloud Director 10.5.1 に対応していること。

※インポートファイルが VMware Cloud Director に対応しておらず、インポートに失敗してしまう場合には、弊社営業担当までご相談下さい。

※メーカーなどから提供を受けた OVF/OVA ファイルをご利用になる場合には、上記の要件を提供元のメーカー様にご確認下さい。

② クラウド環境が満たすべきインポート要件

- ・ インポート対象となる仮想マシンが必要としているリソース (CPU、メモリ、ストレージ) がプライベートクラウド環境に確保できていること。
- ・ OVF/OVA ファイルを vApp テンプレートとしてカタログ領域し、プライベートクラウドへのデプロイする場合、下記の時点にてリソースを消費します。

vApp テンプレート格納時 : ストレージのみ消費します  
デプロイ時 : CPU, メモリ, ストレージをそれぞれ消費します

(例として仮想マシンのストレージ容量 100GB (仮想メモリ分含む) をインポートする場合、必要なお契約ストレージ空き容量は 200GB となります。)

繰り返して仮想マシンの生成を行う想定が無ければ、作業後にカタログ領域は削除可能ですが OVF/OVA ファイルから vApp へ直接インポートをすることで上記の「vApp テンプレート格納時」に必要なリソース分を省略することが可能です。

※本書の「2. OVF/OVA ファイルから vApp へのインポート手順」が対象の手順となります。

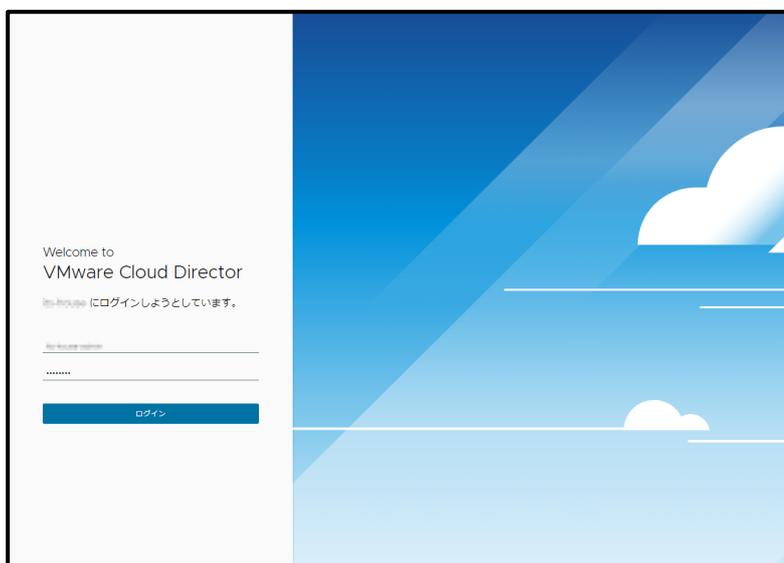
## 2. カタログ領域への OVF/OVA ファイルのインポート

本章では、カタログ領域への OVF/OVA ファイルのインポート方法について説明いたします。

### 2.1 クラウド環境へのログイン

- ① ブラウザから所定の URL へアクセスしてユーザー名/パスワードを入力し、「ログイン」を押下してログインしてください。

URL : 設定完了通知書に記載のある URL  
ユーザー名 : 設定完了通知書に記載のあるユーザー名  
パスワード : 設定完了通知書に記載のあるパスワード



### 2.2 新規カタログの作成

インポートする仮想マシンを格納するために新規にカタログを作成します。

- ① トップメニュー「Content Hub」を選択してライブラリ管理画面に遷移してください。



- ② Content Hub 管理画面に遷移したら、画面左コンテンツライブラリの「カタログ」を選択したうえで「新規」ボタンを押下してください。



※作成済みカタログにインポートする場合は「新規カタログの作成」は省略してください。

- ③ カタログ作成画面が開きますので必要項目を入力して「OK」を押下してください。

名前：任意のカタログの名前を入力

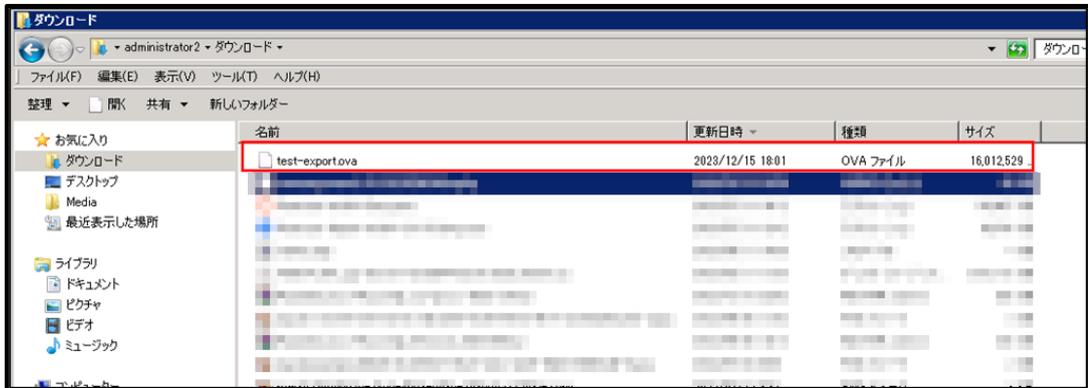
説明：カタログの用途など、説明を入力(省略可能)

- ④ 新規カタログが作成されたことを確認してください。



## 2.3 カタログへの OVF/OVA ファイルアップロード

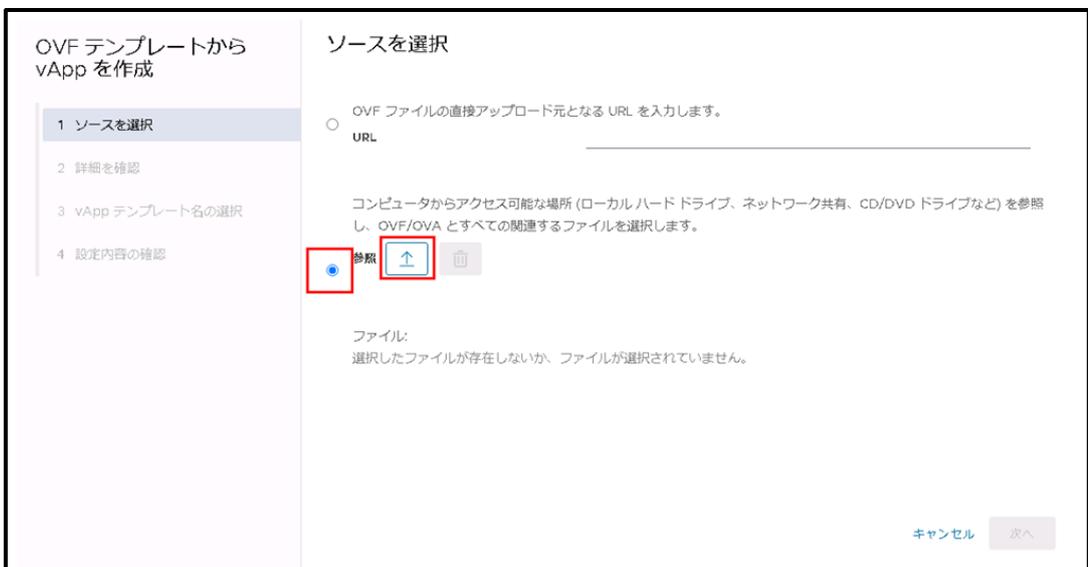
- ① アップロードするディスクイメージファイル(OVF/OVA ファイル)の確認をしてください。



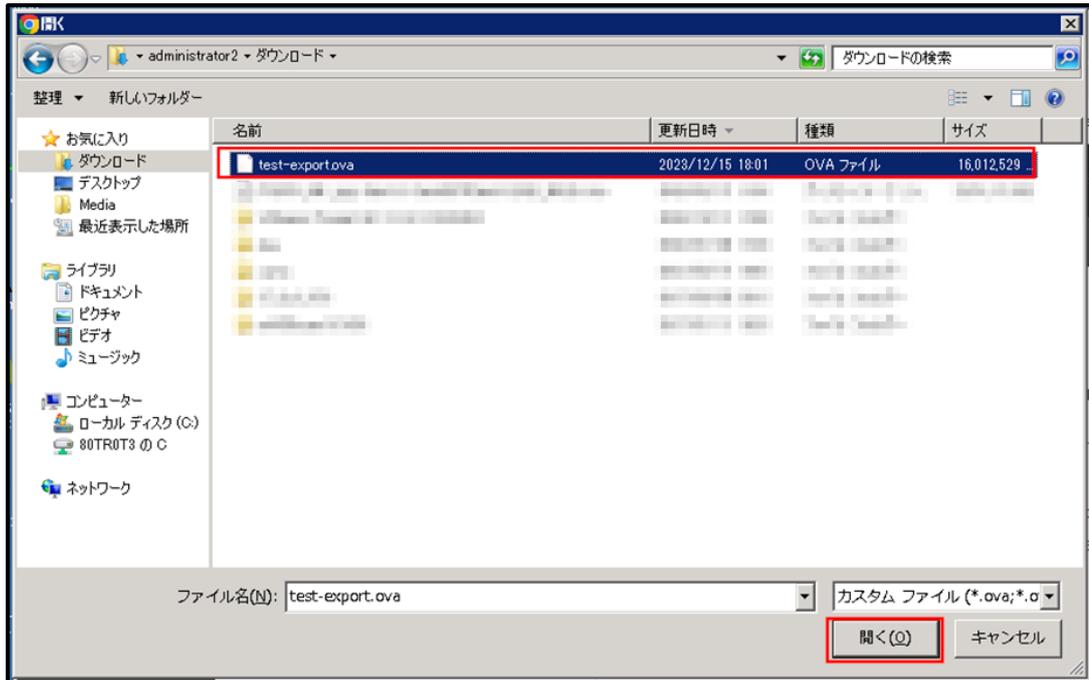
- ② Content Hub 管理画面において、画面左メニューの「内容」 - 「vApp テンプレート」を選択したうえで、「追加」 - 「OVA/OVF」ボタンを押下してアップロード画面に遷移してください。



- ③ 「OVF テンプレートから vApp を作成」画面が表示されたら、ラジオボタンで「参照」を選択してアップロードアイコンを押下してください。



- ④ アップロード対象の OVF/OVA ファイルを選択して「開く」を押下してください。



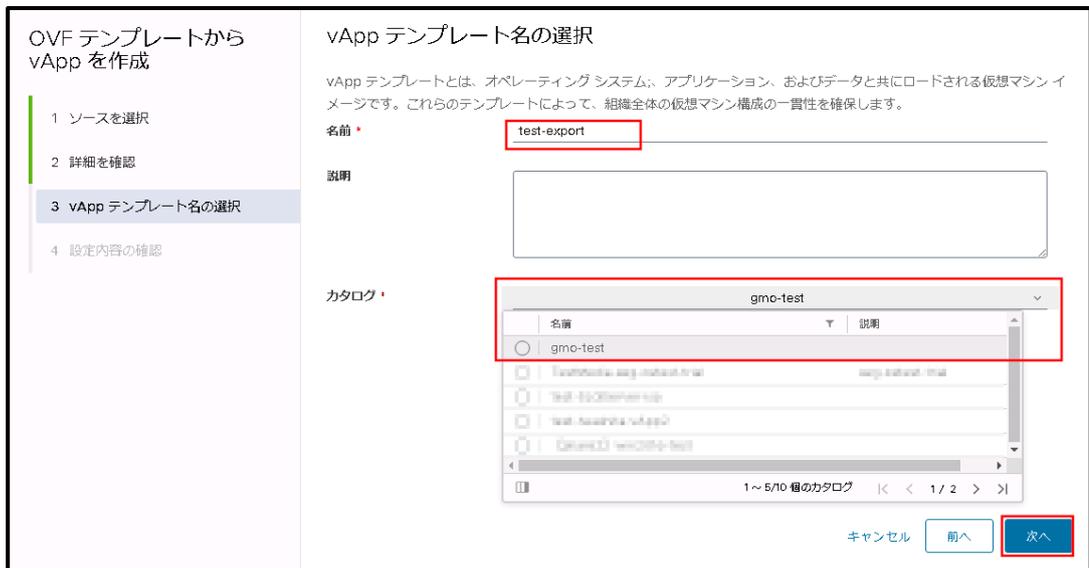
- ⑤ 選択したファイルが表示されていることを確認して「次へ」を選択してください。



⑥ そのまま「次へ」を選択してください。



⑦ 名前欄に vApp テンプレート名を入力し、カタログ欄には作成したカタログをプルダウンメニューから選択してください。その後、「次へ」を押下してください。



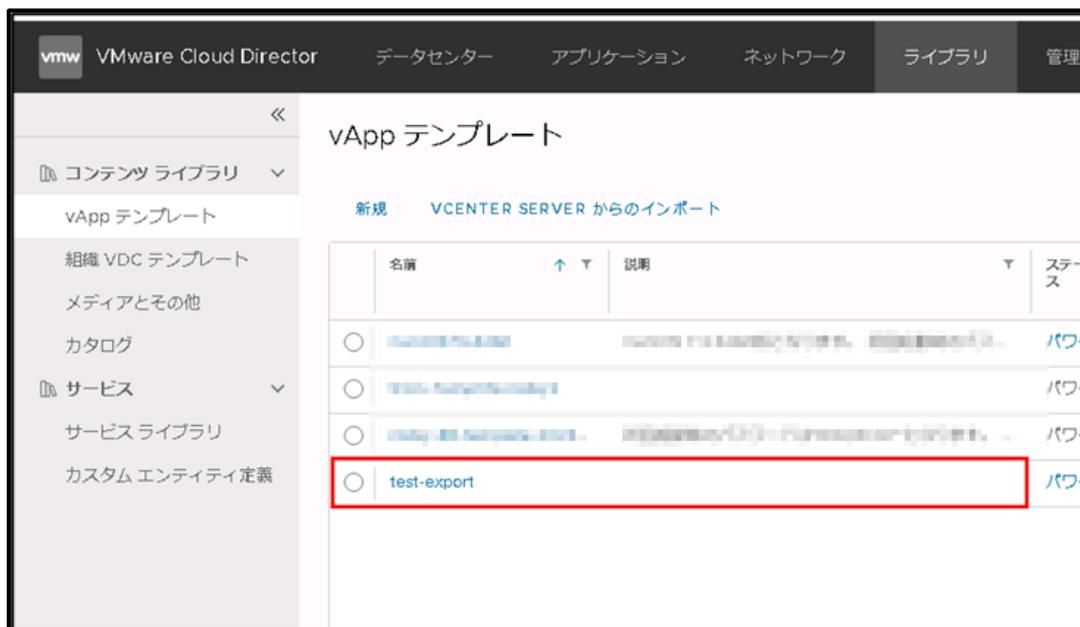
- ⑧ 設定した内容に問題が無ければ「完了」を選択してください。



- ⑨ 「お待ちください」というメッセージが表示された後、画面下部の最近のタスク欄で処理が開始されたことを確認してください。



⑩ アップロードが完了して vApp テンプレートが作成されたことを確認してください。



カタログ領域への OVF/OVA ファイルの vApp テンプレートへのアップロード手順は以上となります。本手順以降の仮想マシンの設定・操作手順は以下のマニュアルをご利用ください。

※vApp テンプレートを元に仮想マシンをデプロイする場合は「2.2 vApp テンプレートを利用した仮想マシンの作成」(16P 以降)を参照ください。

#### ■マニュアル一覧

<https://private-c.gmocloud.com/order/manual/>

対象マニュアル：「仮想マシン作成ガイド」

ユーザー名 : gmocloudprivate

パスワード : D9mhLWgd

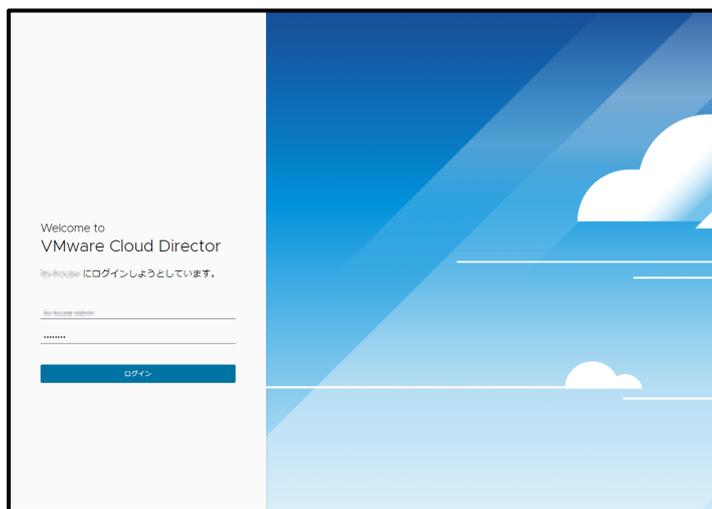
### 3. OVF/OVA ファイルから vApp へのインポート手順

本章では、OVF/OVA ファイルの vApp へのインポート手順について説明いたします。

#### 3.1 クラウド環境へのログイン

- ① ブラウザから所定の URL へアクセスしてユーザー名/パスワードを入力し、「ログイン」を押下してログインしてください。

URL : 設定完了通知書に記載のある URL  
ユーザー名 : 設定完了通知書に記載のあるユーザー名  
パスワード : 設定完了通知書に記載のあるパスワード



#### 3.2 OVF/OVA からの新規 vApp 作成（仮想マシンのインポート）

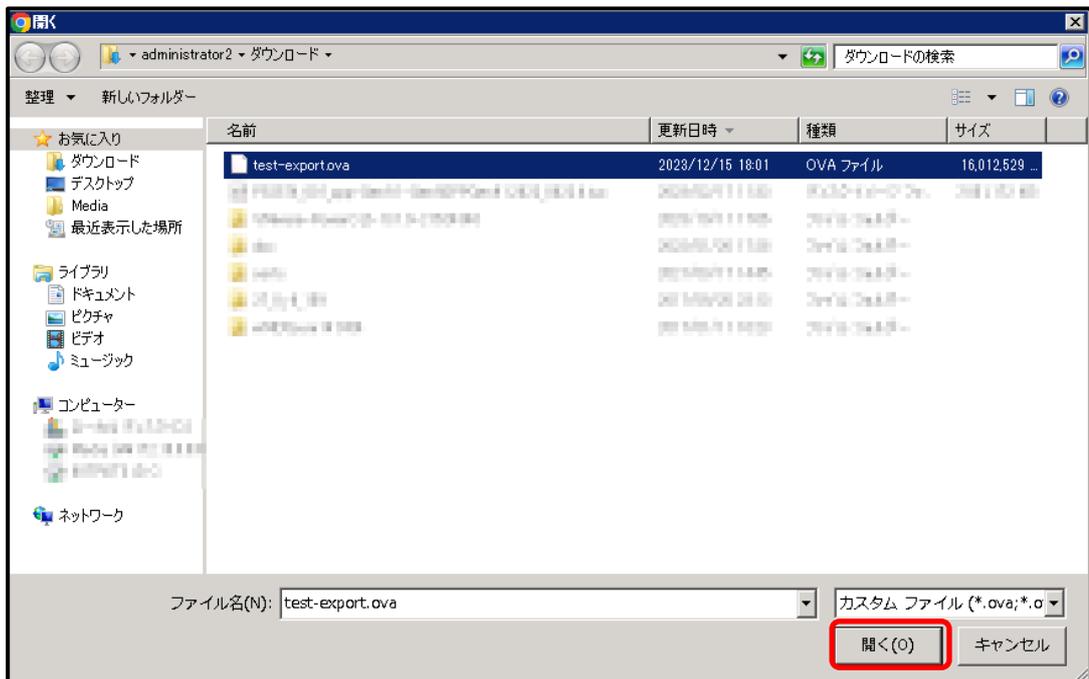
- ① 対象 vApp にて「新規」から「OVF から vApp を追加」を選択してください。



- ② 「ソースを選択」セクションにて「参照」ボタンを押下してください。



- ③ インポートしたい OVA/OVF ファイルを選択して「開く」を押下してください。



④ 選択したファイルが表示されていることを確認して「次へ」を押下してください。

OVF ファイルからの vApp の作成

- 1 ソースを選択
- 2 詳細を確認
- 3 vApp 名を選択
- 4 リソースの構成
- 5 ハードウェアをカスタマイズ
- 6 ネットワーク マッピング
- 7 設定内容の確認

### ソースを選択

コンピュータからアクセス可能な場所 (ローカル ハード ドライブ、ネットワーク共有、CD/DVD ドライブなど) を参照し、OVF/OVA とすべての関連するファイルを選択します。

参照 ↑ 🗑

ファイル:

- test-export.ova

キャンセル 次へ

⑤ そのまま「次へ」を押下してください。

OVF ファイルからの vApp の作成

- 1 ソースを選択
- 2 詳細を確認
- 3 vApp 名を選択
- 4 リソースの構成
- 5 仮想マシン ネットワーク
- 6 ハードウェアをカスタマイズ
- 7 ネットワーク マッピング
- 8 設定内容の確認

### 詳細を確認

OVF テンプレートの詳細を確認します。

製品	test-export
バージョン	-
ベンダー	-
ダウンロードサイズ	15.27 GB
ディスク上のサイズ	- (シンプロビジョニング) 132 GB (シックプロビジョニング)
説明	

キャンセル 前へ 次へ

⑥ デプロイする vApp 名を入力し、「次へ」を押下してください。

OVF ファイルからの vApp の作成

- ソースを選択
- 詳細を確認
- vApp 名を選択**
- リソースの構成
- 仮想マシン ネットワーク
- ハードウェアをカスタマイズ
- ネットワーク マッピング
- 設定内容の確認

vApp 名を選択

vApp は 1 台以上の仮想マシンを含むクラウド コンピュータ システムです。この vApp の名前と説明を選択します。

名前

説明

キャンセル 前へ **次へ**

⑦ 仮想マシンのコンピュータ名を入力してからストレージポリシーを選択し、その後「次へ」を押下してください。

※ストレージポリシーはご契約ストレージの種類によって異なります。

- ・バリュー環境
  - HDD の場合 : IQLight
  - SSD の場合 : ssd
- ・スタンダード環境
  - HDD の場合 : shere2
  - SSD の場合 : ssd

OVF ファイルからの vApp の作成

- ソースを選択
- 詳細を確認
- vApp 名を選択
- リソースの構成**
- 仮想マシン ネットワーク
- ハードウェアをカスタマイズ
- ネットワーク マッピング
- 設定内容の確認

リソースの構成

この vApp にデプロイされている仮想マシンで使用するストレージ ポリシーを選択します。

仮想マシン	コンピュータ名	ストレージポリシー
test-gmogshd	<input type="text" value="test-gmogshd"/>	<input type="text" value="share2"/>

1 個のアイテム

キャンセル 前へ **次へ**

⑧ IPアドレスの割り当ては行わずに「次へ」を押下してください。

**OVF ファイルからの vApp の作成**

- 1 ソースを選択
- 2 詳細を確認
- 3 vApp 名を選択
- 4 リソースの構成
- 5 仮想マシン ネットワーク
- 6 ハードウェアをカスタマイズ
- 7 ネットワーク マッピング
- 8 設定内容の確認

### 仮想マシン ネットワーク

各仮想マシンを接続するネットワークを選択します。このウィザードを完了した後に、仮想マシンの追加プロパティを設定できます。

仮想マシン	プライマリ NIC	ネットワーク アダプタタイプ	vApp 論理ネットワーク	IP 割り当て	IP アドレス
test-gmogshd	<input checked="" type="radio"/> NIC 0	VMXNET3	なし	なし	自動割り当て
	<input type="radio"/> NIC 1	VMXNET3	なし	なし	自動割り当て

1 個のアイテム

[キャンセル](#)
[前へ](#)
[次へ](#)

⑨ 仮想マシンに設定する CPU 数及びメモリ数を設定して「次へ」を押下してください。

**OVF ファイルからの vApp の作成**

- 1 ソースを選択
- 2 詳細を確認
- 3 vApp 名を選択
- 4 リソースの構成
- 5 仮想マシン ネットワーク
- 6 ハードウェアをカスタマイズ
- 7 ネットワーク マッピング
- 8 設定内容の確認

### ハードウェアをカスタマイズ

この vApp 内の仮想マシンのハードウェアを確認します

仮想マシン	コンピュータとメモリ
test-gmogshd	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>仮想 CPU の数 2</p> <p>ソケットあたりのコア数 2</p> <p>ソケットの数 1</p> <p>メモリの合計 4 GB</p> </div>

[キャンセル](#)
[前へ](#)
[次へ](#)

⑩ そのまま「次へ」を押下してください。

**OVF ファイルからの vApp の作成**

- 1 ソースを選択
- 2 詳細を確認
- 3 vApp 名を選択
- 4 リソースの構成
- 5 仮想マシン ネットワーク
- 6 ハードウェアをカスタマイズ
- 7 ネットワーク マッピング
- 8 設定内容の確認

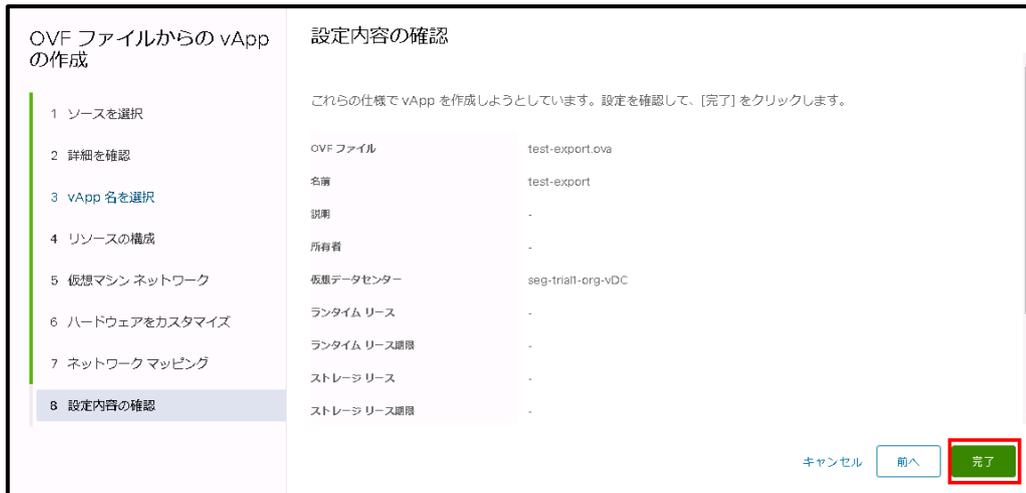
### ネットワーク マッピング

OVF で使用されるネットワークをインベントリ内のネットワークにマッピングする

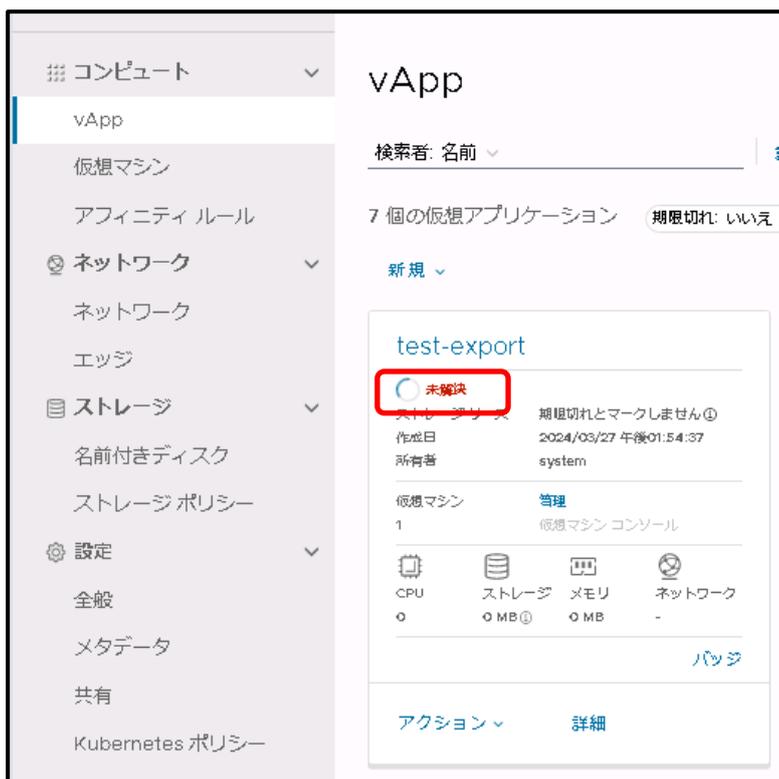
ソース	ターゲット	IP アドレスの割り当て	IP プロトコル

[キャンセル](#)
[前へ](#)
[次へ](#)

⑪ ここまでの設定内容を確認して「完了」を押下してください。



⑫ 作成した vApp のステータスが「未解決」と表示され、作成処理が実行されたことを確認してください。



※仮想マシンの状況により、しばらく処理がかかります。

⑬ vApp のステータスが「未解決」から「パワーオフ」に推移したことを確認してください。



OVF/OVA ファイルを vApp に直接デプロイする手順は以上となります。

本手順以降の仮想マシンの設定・操作手順は以下のマニュアルをご利用ください。

※vApp テンプレートを元に仮想マシンをデプロイする場合は「2.2 vApp テンプレートを利用した仮想マシンの作成」(16P 以降)を参照ください

#### ■ マニュアル一覧

<https://private-c.gmocloud.com/order/manual/>

対象マニュアル：「仮想マシン作成ガイド」

ユーザー名 : gmocloudprivate

パスワード : D9mhLWgd